

平成 26 年度「みえの現場・すこいやんかトーク」(明和町) の概要

1 月 13 日 (火) に明和町総合体育館 ミーティング室で「みえの現場・すこいやんかトーク」を開催しました。

当日は、子どもの体力向上やスポーツを通じた地域活性化に取り組む「『明和町体育協会』の皆さん」8名に、活動内容や課題、行政へ期待していることなどについて、ご意見などをお伺いしました。



【参加者からの発言】

代表から、団体の活動について紹介していただいた後、メンバーの皆さんから、自身の主な活動の報告を含め、自己紹介していただきました。

(活動紹介)

- 体育協会は、明和町における体育スポーツレクリエーションの普及、振興や町民の健康増進を図ることを目的としており、明和町総合体育館の指定管理運営や、町からの委託事業として、駅伝大会やキッズ健康マラソン大会などを開催している。
- 体育協会の初の自主事業として昨年 12 月に三重県ゆかりの名投手、澤村栄治を語る講演会を実施し、多くの方に参加してもらった。

Q. 活動を通じて、こんな嬉しいこと、楽しいことがあった、また、スポーツ競技の面白さや醍醐味についてお聞きしたい。

- グラウンドゴルフの 1 級指導員の資格を持っている。大切なのはマナーとエチケットで、いつでも、どこでも、誰でもできるのが魅力であり、競技人口も増えてきている。
- 町のスポーツ事業について、全て体育協会に任せてもらえるということ、特に今年度からは「美し国三重市町対抗駅伝」と、平成 33 年の三重国体に携われるようになったことが嬉しい。個人的にはソフトボールで国体に 7 回出場した。

明和町スポーツ振興会 6 地区の中の 1 つ、下御系地区のスポーツ振興会会長をしている。地区の人口は明和町の全体の 9 分の 1 であるが、昨年の 12 月の駅伝大会では、地区対抗優勝と総合オープンの部を含めて 3 位になったのが自慢である。野球をしたいが、仕事の都合で昼間はできないという人が多い。ここではナイターなので、そういう人達の受け皿になっている。メンバーから「このまま続けてもらいたい」と言われ、すごくやりがいがある。

スポーツ少年団にも、指導者が必要と考え、指導者の育成に取り組んできた。今ではスポーツ少年団の指導者が中心になって、子どもを集めて、地元の祭りに参加してくれるようにもなり喜んでいいる。

ソフトボールを始めたのは、兄が野球やっていたので自然にグローブとボール、周りにあり、それしか目が向かなかった。実家の近くが海で、遊び場が砂浜だったので、足腰がすごく強いというのが自慢である。

ママさんバレーをしていたが、当時は時間が取れず、十分に教えることができなかったが、体育協会に入って、普及に努められるのが嬉しい。

町でスポーツ祭りや、57 回も続いている駅伝大会があるということを職場で話すと、すごいと言われる。これは明和町が自慢できる事だと思う。

Q . 今後、この活動が飛躍していく上での課題等やこうしていきたいということがあれば、お聞きしたい。

今年度、タレントの山田雅人さんを招いて講演会を行ったが好評だったので、数年後に再び山田さんを招いて、ソフトボール選手の上野由岐子物語を語る講演会を実施して、国体に向けて町民の機運を高める取組をしたいと思っている。

今年度、自主事業も行い組織としても 1 本立ちができたが、今後は各種団体との連携を進めていくことが大事と思っている。国体においても、駅伝においても協力者がたくさん必要になるので、団体を巻き込んで、やっていければと思っている。

グランドゴルフが発展するために地元の中学校の体育授業で実施指導をしている。目的の 1 つは若い人に入ってもらいたいということがあり、これからは国体の種目になるということもあるので、世代間交流大会を毎年やって、全体的に広げたいと考えている。

【知事の発言】

○スポーツ指導は重要な仕組みであり、一つの種目を極めるのもよいが、いろんな指導者と出逢い、いろんな種目を経験できるというのが大事なことだと思う

指導者が無資格ではいけないので、是非これからも指導者の方の拡大を質的向上も含めて頑張ってもらいたいと思う。我々もいろんなサポートして行きたい。

国体などの開催には、それぞれの競技団体の皆さんとの連携や、体育協会の皆さん、地域の皆さんの協力がないと成功しないと思う。

グランドゴルフを広げていきたいというお話があったが、地域内の小学校や中学校、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどで、そのスポーツに触れる機会があると少しずつ普及して行くと思う。

三重県スポーツ推進条例が、今年の 4 月からスタートし、その中に「スポーツは人

生を豊かにする」と書いているが、皆さんはそれを実践されている。スポーツは、する人だけでなく、見る人も支える人も皆が一緒になって、人生を豊かにするのだと思う。



「明和町体育協会」は、明和町における体育・スポーツ・レクリエーションの普及振興を図るとともに、町民の体力向上と健康の増進に寄与することを目的に、昭和51年に設立された団体です。

明和町からの委託事業として、明和スポーツまつりや明和キッズ健康マラソン大会等を開催するとともに、本年度は、初の自主事業として、子どもたちを対象にした「山田雅人 語りの世界 澤村栄治 物語」を開催しました。